



会社概要（本社）

社名 PPG Industries, Inc.

PPG は、世界有数の自動車用塗料メーカーであり、北米の大手建築用塗料メーカーである。世界の主要な工業用塗料と容器コーティング剤のサプライヤーであり、このほかにも、板ガラスや加工ガラス、ガラス繊維（連続ストランド）や化学製品を製造している。

設立年月日	1883年8月24日	売上高	1兆1200億円(2005年度)
事業内容	塗料・ガラス・化学品等の製造・販売	資本金	1千120億円
純利益	656億円(2005年度)	研究開発費	346億円(2005年度)
従業員数	32,500名	代表者	Charles E. Bunch

(社名の PPG は、ピッツバーグで誕生したガラス会社という意味を含め Pittsburgh Plate Glass の頭文字を取ったものです。)

会社概要（日本支社）

社名 ピーピージー・ジャパン株式会社

所在地(東京本部)

〒150-0002
東京都渋谷区渋谷 2-15-1
渋谷クロスタワー13階
TEL 03-3476-7015
FAX 03-5778-2557

所在地(横浜営業所)

〒231-0006
神奈川県横浜市中区
南仲通 3-35
横浜エクセレント III - 7F
ピーピージー・ジャパン株式会社
アマコート防食塗料事業部
TEL 045-651-9941
FAX 045-651-9944

物流センター 所在地

〒441-8074
愛知県豊橋市明海町 33-31
TEL 0532-25-9518
FAX 0532-25-9519

E-mail: sales_japan@ppg.com

ホームページ: <http://corporate.ppg.com/PPG/SBU/IndustrialCoatings/Japan>

設立年月日	1980年4月23日	資本金	3億5525万円
主要株主	PPG Industries, Inc.	従業員数	41名
事業内容	塗料等の輸入・販売	主取引銀行	シティバンク・東京支店
決算期	毎年12月31日	取引条件	月末締め・翌月末現金振込
代表者	代表取締役社長・須田敦		

主な加盟団体	(社)日本塗料工業会 (賛助会員)	(社)日本流行色協会
	(社)自動車技術会	(社)在日米国商工会議所 (賛助会員)
	(社)日本防錆技術協会	(社)腐食防食協会
	(社)日本建築材料協会	日本パウダーコーティング協同組合 (賛助会員)
	愛知県工業塗装協同組合 (賛助会員)	米国自動車製品日本協議会



事業部一覽

- ・ Architectural Coatings (建築用塗料)
- ・ Packaging Coatings (パッケージング用塗料)
- ・ Automotive Refinishes (自動車・補修用塗料)
- ・ Automotive Glass (自動車ガラス)
- ・ Specialty Chemicals (特殊化学製品)
- ・ Optical Products (光応製品)
- ・ Fiber Glass Electronic & Specialty Materials (ガラス繊維製品)
- ・ Chlor-Alkali Products (クロル・アルカリ製品)
- ・ **Industrial Coatings (工業用塗料)**
- ・ Automotive OEM (自動車・新車用塗料)
- ・ Aircraft Products (航空用製品)
- ・ Flat Glass Products (板ガラス製品)
- ・ Fine Chemicals (ファインケミカル)
- ・ Silicas (シリカ製品)

沿革

PPG インダストリーズは、1883 年にピッツバーグ・プレートガラス (Pittsburgh Plate Glass Co.)として設立されました。最初の工場は、ピッツバーグに程近いペンシルベニア州クレイトンに建設され、米国で最初に商業的に成功した板ガラス工場となりました。その後の 15 年間、PPG の板ガラス生産事業は、新規設備の建設や企業買収によって急速に拡大しました。

19 世紀の終わりになると事業の多角化が始まり、1899 年にはガラス製造用アルカリの安定的供給を図るための工場がオハイオ州に建設され、これが PPG の化学品事業の先駆けとなりました。また 1900 年に買収された塗料会社は、コーティングス事業の基盤となりました。1902 年には欧州での事業を構築し、PPG は、この点でも米国系企業のパイオニアでした。

1920 年代もガラス事業と塗料事業が PPG の繁栄を支えました。当時、自動車産業と超高層ビルの建設がアメリカの町並みを変え、近代化を推進していました。

この時代の PPG は、生産効率、製品の品質や汎用性を高めるための技術開発への取り組みを強化しました。早い段階での成果としては、1924 年に初めて直線コンベヤー法をガラス生産に導入したことが挙げられます。この結果、ガラスの製造工程は大きく進歩しました。これは、組立ラインが自動車産業を一変させたことに匹敵するような大きな進歩でした。それから数十年間、PPG はガラスと塗料の新製品の開発を続けることで、厳しさを増す市場のニーズに応え、化学品のラインアップを拡充させていきました。

1952 年、PPG は、ガラス繊維という新たなタイプのガラス製品に秘められた可能性に着目し、ガラス繊維事業部門を創設しました。研究部門の努力によって生み出された「奇跡の」繊維の 1 つであるガラス繊維は、さまざまな製品での使用量が現在でも増え続けており、PPG は、製品と製造プロセスの開発では最先端の地位を占め続けています。

事業の多角化、事業の成長、急速に拡大する世界市場でのプレゼンス、そして旧来のプレート法によるガラス生産の終焉により、1968 年には社名を PPG インダストリーズに変更しました。そして、その後の数十年間に、数多くの基本的な汎用品の市場が北米や欧州で成熟化したため、PPG は、特殊製品、付加価値品、工程効率化や海外進出の強化に事業活動の主眼を移しました。



今日、PPG は、合理化を進め、経営効率を高め、各製品の市場におけるトップ企業となり、全世界での事業活動の拡大を目指した技術開発の点でも最先端を走り続けています。



組織概要

役員紹介 BOARD OF DIRECTORS

	氏名	役職	所属会社	その他
	Charles E. Bunch	会長 (2005年～)	PPG社・最高経営責任者	H.J. Heinz社・現理事 米連邦準備制度理事会 クリーブランド連銀・現次長 全米製造者協会(NAM)・現理事
	James G. Berges	理事 (2000年～)	Emerson Electric社・現社長	Emerson Electric社・現理事 MKS Instruments, Inc.社・現理事 全米製造者協会(NAM)・現次長 米国商工会議所・現理事
	Erroll B. Davis Jr.	理事 (1994年～)	Alliant Energy Corporation社・ 現会長・社長/CEO	BP p.l.c.社・現理事 Union Pacific社・現理事 米国オリンピック委員会・現理事
	Victoria F. Haynes	理事 (2003年～)	Research Triangle Institute・ 現社長/CEO	Lubrizol Corporation社・現理事 Nucor Corporation社・現理事 Ziptronix, Inc.社・現理事 BF Goodrich社・元副社長
	Michele J. Hooper	理事 (1995年～)		Stadtlanter Drug社・元社長/CEO Voyager Expanded Learning社・元社長/ CEO AstraZeneca p.l.c.社・現理事 Target Corporation社・現理事 DaVita, Inc.社・現理事
	Robert Mehrabian	理事 (1992年～)	Teledyne Technologies Inc.・ 現社長/CEO・理事	Mellon Financial Corporation社・ 現理事 Carnegie Mellon大学・元学長 マサチューセッツ工科大学(MIT)・ 元教授
	Robert Ripp	理事 (2003年～)	Lightpath Technologies, Inc.・ 現会長	AMP Incorporated社・元会長・社長/ CEO IBM社・元副社長 ACE Limited社・現理事 Safeguard Scientific社・現理事

	Thomas J. Usher	理事 (1996年～)	U.S. Steel 社・現会長	USX 社・元会長・CEO Marathon Oil 社・現理事 PNC Financial Services 社・現理事 H.J. Heinz 社・現理事
	David R. Whitwam	理事 (1991年～)		Whirlpool 社・元会長・CEO Convergys 社・現理事 The Business Roundtable・現理事

組織概要

経営者紹介 CORPORATE EXECUTIVES

Chairman & CEO 会長兼最高経営責任者



Charles E. Bunch
Chairman and Chief Executive Officer

最高経営責任者(CEO)のプロフィール

チャールズ・E・バンチ(56歳)は、2005年3月31日にPPGの社長兼最高経営責任者に選任され、その後、7月1日付けで会長兼最高経営責任者となりました。

1979年に本社監査役のアシスタントとしてPPGに入社し、その後、インディアナ州とアラバマ州のガラス工場でそれぞれ財務を担当しました。1982年には、欧州財務・企画担当マネージャー(フランス・パリ)に任命されました。

1985年、欧州板ガラス・商用品担当マネージャーとなり、翌年にはPPGのガラス子会社(イタリア)の代表取締役役に就任しました。

1988年にピッツバーグに戻り、本社購買・物流担当ディレクター、1992年からは建築用塗料部ゼネラルマネージャー、1994年からは建築用塗料部副社長、1995年にはガラス繊維部副社長、1997年には戦略計画・法人向けサービス担当上席副社長に選任され、2000年にはコーティング事業部門執行副社長となり、2002年7月にPPGの取締役社長兼最高執行責任者に選ばれました。

フィラデルフィア生まれのバンチは、ジョージタウン大学で国際関係論の学位を取得し、1979年にはハーバード大学大学院を卒業し、MBAを取得しました。現在、クリーブランド連邦準備銀行のディレクター兼会長補佐、ピッツバーグ大学の理事、H・J・ハインツ社の社外取締役、全米製造業者協会の理事、米国塗料工業会の理事を務めています。





Senior Vice President 上級副社長



J. Rich Alexander
Senior Vice President, Coatings



William A. Wulfsohn
Senior Vice President, Coatings &
Managing Director, PPG Europe



Kevin F. Sullivan
Senior Vice President, Chemicals



William H. Hernandez
Senior Vice President, Finance



Garry A. Goudy
Senior Vice President, Automotive
Aftermarket



Victoria M. Holt
Senior Vice President, Glass &
Fiber Glass



James C. Diggs
Senior Vice President, General
Counsel & Secretary

Vice President 副社長



Richard A. Beuke
Vice President, Architectural
Coatings



Marc P. Talman
Vice President, Packaging Coatings



Joseph Stas
Vice President, Auto OEM Glass



Michael H. McGarry
Vice President, Chlor-Alkali and
Derivatives



Lynne D. Schmidt
Vice President, Government and
Community Affairs



David P. Morris
Vice President, Aerospace



Dennis A. Kovalsky
Vice President, Automotive OEM
Coatings



Mark J. Orcutt
Vice President, Flat Glass



Richard C. Elias
Vice President, Optical Products



David B. Navikas
Vice President & Controller





Donna Lee Walker
Vice President, Tax Administration



Aziz S. Giga
Vice President, Strategic
Planning



Kathleen A. McGuire
Vice President, Purchasing and
Distribution



Jim A. Trainham
Vice President, Science &
Technology



Susan M. Kreh
Treasurer



Douglas B. Atkinson
Vice President, Investor Relations



Maurice V. Peconi
Vice President, Corporate
Development & Services



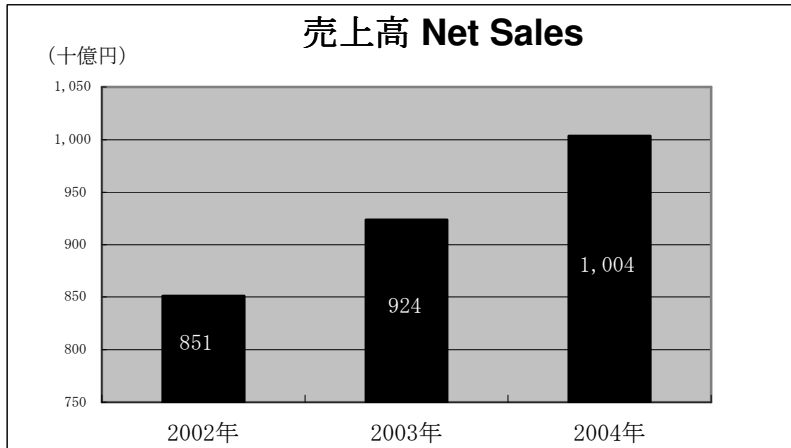
Werner Baer
Vice President, Information
Technology



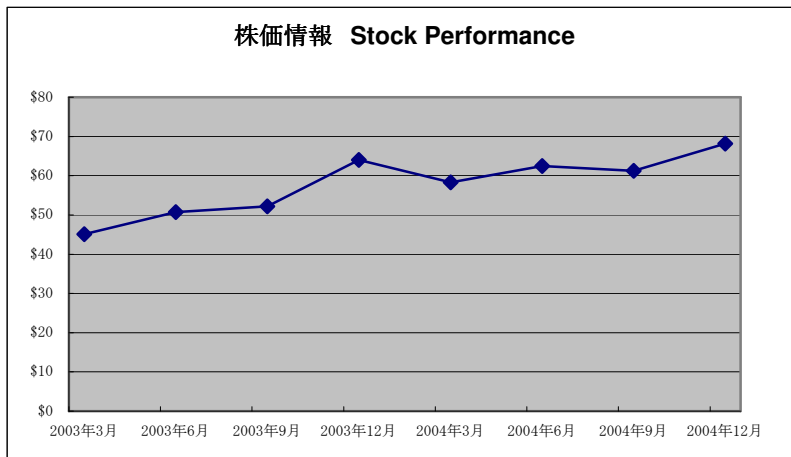
Charles W. Wise
Vice President, Human Resources



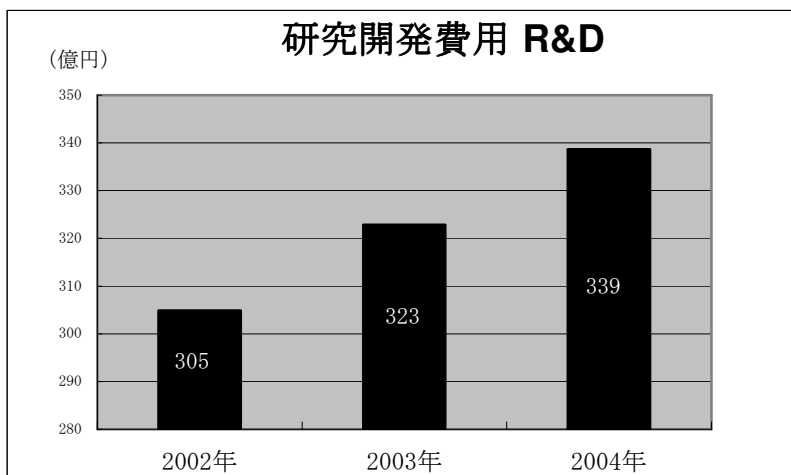
投資家関連情報



- ・ 一兆円企業
- ・ 対前年伸び率 = 8.6%



- ・ 発行済株式数 = 172,176 千株
- ・ 社員株主特株比率 = 16%



- ・ 売上高の 40%= 新製品



製造拠点 (一部のみ)

米国

Adrian, Michigan
Batavia, Illinois
Baton Rouge, Louisiana
Circleville, Ohio
Cleveland, Ohio
Delaware, Ohio
Dover, Del
East Point, Georgia
Euclid, Ohio
Glendale, California
Gloucester City, New Jersey
Greensboro, North Carolina
Houston, Texas
Huntsville, Alabama
Kenosha, Wisconsin
Louisville, Kentucky
Mojave, California
Oak Creek, Wisconsin
Springdale, Pennsylvania
Strongsville, Ohio
Waller, Texas
Watertown, Connecticut

アルゼンチン

Pilar

イギリス

Shildon
Stowmarket
Wigan

イタリア

Caivano
Quattordio

インド

Mumbai

オーストリア

Clayton

オランダ

Tiel

カナダ

Mississauga, Ont.

韓国

Pusan

スペイン

Iberica
Valencia
Valladolid

タイ

Bang PainBangpu
Samutprakarn

台湾

Taipei

中国

Henggang
Lianyungang
Nanchang
Suzhou
Tianjin

ドイツ

Weingarten
Wuppertal

トルコ

Bursa

ブラジル

Sumar

フランス

Saultain

ベトナム

Dong Nai
Long An

マレーシア

Kuala Lumpur

メキシコ

Altamira
San Juan del Rio de Mexico



登録商標の一覧表 (一部のみ)

Acrynar	アクリナー	建築用塗料(フッ素系)
Aquabase	アクアベース	自動車補修用塗料(水性系)
Aquacron	アクアクロン	工業用塗料(水性系)
Aquapel	アクアペル	撥水性ガラス処理剤
Aquapon	アクアポン	工業用塗料(水性系)
Audioguard	オーディオガード	防音塗料
Bairocade	ベアロケード	酸素バリアーコーティング
Bonazinc	ボナジンク	防錆コーティング剤(溶接可能なプライマー)
BPR	BPR	特殊塗料
Ceramiclear	ケラミクリーヤー	自動車用塗料
Chemform	ケムフォーム	潤滑剤
Chemfos	ケムフォス	前処理剤
Chemkleen	ケムクリーン	前処理(脱脂)
Chemseal	ケムシール	後処理剤
Chemwhite	ケムホワイト	ブース用コーティング剤
Corabond	コラボンド	接着剤
Corafalon	コラフロン	建築用塗料(フッ素系)
Corashield	コラシールド	アンダーコート
Corrosol	コラソール	錆び・スケール・カーボン除去剤
CR-39	CR-39	アリルジグリコールカーボネート
Delfleet	デルフリート	商用車補修用塗料
Deltron	デルトロン	自動車補修用塗料
Diamond Coat	ダイヤモンドコート	自動車用塗料
Duracron	デュラクロン	建築用塗料(アクリル系)
Duracryl	デュラクリル	工業用アクリルラッカー系塗料
Duranar	デュラナー	建築用塗料(フッ素系)
Durethane	デュラセーン	工業用ウレタン系塗料
Electro Image	エレクトロイメージ	電着フォトレジスト
ElectroPolyseal	エレクトロポリシール	ネジ・ボルト用電着塗料
Electroclear	エレクトロクリーヤー	意匠性電着クリーヤー
Enviracryl	エンバイラクリル	自動車用粉体クリーヤー
Enviro-Prime	エンバイロプライム	自動車用無鉛タイプ電着塗料
Envirobase	エンバイロベース	自動車用水性塗料
Envirocron	エンバイロクロン	工業用粉体塗料
Gillite	ギルライト	水性洗浄剤



Harlequin	ハーリクイン	自動車補修用塗料
Ice Kote	アイスコート	パッケージ用塗料
Irco Bond	イルコボンド	ネジ・ボルト用燐酸亜鉛皮膜処理剤(浸漬タイプ)
Irco Rinse	イルコリンス	後処理剤
Irco Seal	イルコシール	ネジ・ボルト用有機被膜処理剤
Magnudraw	マグニユードロー	潤滑剤
Magnu-Spray	マグニユースプレー	前処理剤
Manor Hall	マナーホール	建築用塗料
Megaflon	メガフロン	建築用塗料(フッ素系)
Nupal	ヌパール	前処理剤(ノンクローム)
Olympic	オリンピック	木質用油性ステイン
Oven Tacky	オーブンタッキー	乾燥炉用コーティング剤
Pitt-Char	ピットチャー	耐火塗料
Pitt-Guard	ピットガード	エポキシ系塗料
Pitt-Tech	ピットテク	工業用水性エナメル系塗料
Pitt-Therm	ピットサーム	耐熱塗料
Pitthane	ピット	ウレタン系塗料
Pittsburgh	ピッツバーグ	建築用塗料
Polycron	ポリクロン	建築用塗料(ポリエステル系)
Polyseal	ポリシール	ネジ・ボルト用ボンド防食剤
Polystrip	ポリストリップ	剥離剤
Porter	ポルター	建築用塗料
Powercron	パワークロン	電着塗料
Powerseal	パワーシール	ネジ・ボルト用防錆塗料
Raycron	レイクロン	UV/EB
ROCC	ROCC	前処理剤(ノンクローム)
Rustarest	ラストレスト	ネジ・ボルト用防錆油
Solguard	ソルガード	プラスチックハードコート
Spectracron	スペクトラクロン	工業用溶剤系塗料
Speedhide	スピードハイド	建築用塗料
Strataguard	ストラタガード	前処理剤(燐酸鉄系)
The Voice of Color	ザ・ヴォイス・オブ・カラー	建築用塗料
UltraGuard	ウルトラガード	前処理剤(燐酸鉄系)
Uni-Prime	ユニプライム	厚膜型電着塗料
Velvecron	ヴェルヴェクロン	携帯電話・電子機器用ソフトタッチ

他 400 件



PPGの外資企業顧客（一部のみ）

会社名	塗装品	会社名	塗装品
アウディ	自動車	デルファイ	自動車部品
アストンマーティン	自動車	タワーオートモティブ	自動車部品
IBM	コンピュータ	デルコンピュータ	ノートブックコンピュータ
アメリカン航空	航空機	ノースウエスト航空	航空機
アルファロメオ	自動車	ノースロップ	航空機
ヴァージニ航空	航空機	ノキア	携帯電話
エア・カナダ	航空機	ハーレーダビッドソン	二輪
エアバス	航空機	ビー・エム・ダブリュー	自動車
エレクトロラックス	家電	ビステオン	自動車部品
カンタス航空	航空機	フィアット	自動車
キッチンエイド	家電	フェデラルエクスプレス	航空機
キャセイパシフィック	航空機	フェラーリ	自動車
キャタピラー	トラクター	フォード	自動車
ケーエルエム	航空機	フォルクスワーゲン	自動車
ケース・ニュー・オランダ	トラクター	プジョー	自動車
コンティネンタル航空	航空機	ブリティッシュ・エアウエイズ	航空機
サーブ	自動車	ボーイング	航空機
サムソン	携帯電話	ボルシェ	自動車
GKN	トラクター	ボンバルディア	航空機、鉄道車両
シーメンス	携帯電話	マクドネルダグラス	航空機
シトロエン	自動車	マグナ	自動車部品
シュラーゲ	ロック、電気錠	マセラティ	自動車
ジョン・ディーア	トラクター	メイトラッグ	家電
シンガポール航空	航空機	メルセデス・ベンツ	自動車
スカーニア	自動車	モトローラ	携帯電話
スタンレー	工具	ユナイテッド航空	航空機
スチールケース	オフィス用家具	ランボルギーニ	自動車
スナッパー	草刈機	リア	自動車部品
スナップオン	工具箱	リーボック	運動靴
セスナ	航空機	ルノー	自動車
ゼネラル・エレクトリック	家電	ルフトハンザ	航空機
ゼネラル・ダイナミクス	航空機	レイセオン	航空機
ゼネラルモーターズ	自動車	ロジテック	マウス・キーボード
大宇	自動車	ロッキード	航空機
タイトリスト	ゴルフボール	ワールプール	家電
ダイムラー・クライスラー	自動車	雙龍	自動車
他 8万5千社			

